



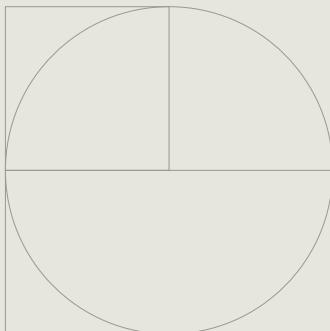
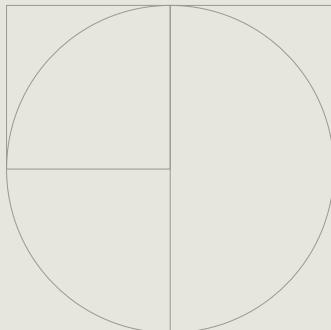
Business Report

第47期 報告書

2023年1月1日～2023年12月31日

YKT株式会社

証券コード：2693





2023年に始動した新体制のもと、 中期経営計画「YKT Vision 100」の着実な進捗に 経営資源を集中してまいります

代表取締役社長 柳 崇博

Q 2023年4月に代表取締役社長に就任されました。
新リーダーとしての抱負をお聞かせください。

A 当社最大の資本である人材の強化を図りつつ、
将来にわたる持続的な成長を牽引してまいります。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの能登半島地震により被災された皆様には、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社グループは1924年の創業以来、1世紀の長きにわたって世界の産業界に卓越した商品とサービスを提供し、継続的な成長を達成してきました。その原動力は、社会における自社の存在意義を正しく理解し、仕事に対する自信と誇りを持って邁進してきた社員一人ひとりの取り組みにあると受け止めています。お客様の事業に貢献する商品と高度な技術サービスを併せて提供する総合力、およびそれを支える豊富な人的資本こそ、当社グループの市場における競争力の源泉です。

私はYKTグループの今後を担うリーダーとして、当社グループの唯一最大の資本である人材のさらなる拡充に取り組むと同時に、お客様や仕入れ先とのコミュニケーション

を緊密にし、マーケットが求める商品・サービスの開発に注力することで、当社グループの持続的な発展を牽引していきます。

Q 2023年12月期の事業環境と連結業績をどのように総括していますか。

A 外部環境の悪化の影響を受け減収減益となりましたが、
2024年12月期に向けての布石を打つことができました。

2023年12月期の事業環境は総じて厳しい状況で推移しました。ウクライナ紛争の長期化や米中対立の深刻化といった地政学的リスクの高まりに加え、中国経済の失速懸念や急激な円安の進行による輸入製品の価格高騰が当社収益の圧迫要因となりました。連結業績は光電子装置の販売が好調を維持したものの、外部環境の悪化を克服することはできず、前期比で減収減益の着地となっています。

しかし、これらの逆境に対応するため、メーカー各社との連携強化やお客様満足度の向上を目指すなどの取り組みは着実に取り組んでおり、その効果は2024年12月期に顕在化するものと期待しています。

Q 中期経営計画「YKT Vision 100」の進捗状況と最終年度である2024年12月期の取り組み方針をご説明ください。

A 経営環境の好転を追い風に、成長領域ならびに成長地域にて存在感を示すことに注力していきます。

「YKT Vision 100」の初年度であった2022年12月期は、市場全般の急回復に加え、EV車載関連投資の増大など、需要の拡大を確実に捉えることに成功し、本中計の最終目標を前倒しで達成することができました。しかし2023年12月期は市場環境悪化の影響を克服するには至らず、「YKT Vision 100」の進捗は足踏み状態が続いています。

2024年12月期も厳しい状況でのスタートとなりますが、第2四半期以降、光電子装置やEV関連装置を中心に各企業の設備投資が回復基調に転じ、市場環境は徐々に好転するものと予想しています。当社グループは生産財を扱う専門商社として、中長期の経済産業動向を注視しながら、市場に驚きを与える商品・技術の開発、および販売力の強化により、さらなる成長を追求していきます。また最先端レーザー関連機器などの成長領域や南アジアをはじめとする成長地域に経営資源を積極的に投入し、事業構成の最適化を図っていく計画です。

目標指標については当初計画通り、売上高130億円以上、営業利益5億円以上、ROE（自己資本利益率）5%以上を目指してまいります。

Q サステナビリティへの貢献についてご紹介ください。

A 環境に配慮した製品の拡販を通じて、持続可能な社会の構築に貢献しています。

YKTが社会から信頼され、期待される企業グループであり続けるためにサステナビリティへの取り組みは欠かすことができません。当社グループの本社はISO14001認証を

取得しており、日常的に環境負荷を減らす活動に取り組んでいます。同時に顧客に対しては環境にやさしい設備や製品を積極的に提案・提供することで、持続可能な社会の構築を目指しています。

また当社グループは人材こそが最大の資本であるとの観点から労働環境の改善、公正な処遇に努めています。特に人材の育成に注力するとともに、登用についても国籍・年齢・性別・信条に拠らない人物本意とするよう努めることで多様性に富む、柔軟な企業風土の実現を目指しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 株主様との緊密な関係を維持し、「次の100年」も成長し続ける企業グループを創造していきます。

YKTグループにとって2024年は創業100年の節目の年となります。この100年を振り返ると、第二次世界大戦による機械輸入の停止や経済の崩壊に伴う業績の悪化など、事業の存続を危うくする多くの困難に直面してきました。こうした苦境を克服し、継続的な成長を実現できたことは、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先、地域社会、当社社員など、ステークホルダーの皆様のご理解とご支援があったからこそ深く感謝しております。次の100年も経済社会の動向やマーケットニーズの変化に柔軟に対応することで、収益力を高め企業価値を向上させるとともに、継続的・安定的な配当を行い、株主の皆様の期待に応えられるよう努めていく所存です。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りたく心よりお願い申し上げます。

■ 連結決算ハイライト

■ 売上高

12,882 百万円



POINT

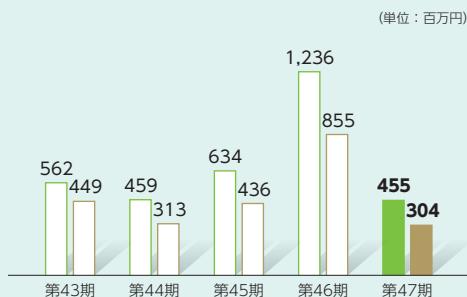
主力商品の販売力・収益力の強化を実践しましたが、中国経済の減速が電子機器の輸出販売や工作機械の国内販売に影響を及ぼし、受注の調整局面が続きました。その結果、電子機器の輸出版売が大きく減少するとともに、工作機械の国内販売も減速傾向にあり、減収となりました。

■ 経常利益

455 百万円

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

304 百万円



POINT

中国経済減速の影響を受けるとともに、円安による販売価格の高騰により需要の減速が見られ、工作機械の国内販売が減少いたしました。また、中国市場で生産力の増強に動いていた設備投資需要が景気の減速とともに急減速する形となり、輸出版売が減少したため減益となりました。

■ 純資産

8,096 百万円

■ 総資産

12,436 百万円



POINT

総資産は、消費税の還付、売掛金の回収などにより現預金が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、商品残高及び未収消費税等の減少などにより、前期末比で12億2千7百万円の減少となりました。

純資産は、配当金の支払いが9千2百万円ありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益が3億4百万円となり利益剰余金が2億1千1百万円増加したことなどによるものです。

株 主 還 元

当社は、常にグループの収益力強化に努め、企業価値向上と株主の皆様への適切な利益還元を重要経営課題と認識し、継続的かつ安定的に利益還元を行っていくことを基本方針としております。

2023年12月期配当金につきましては、1株当たり普通配当5円に記念配当5円を加えた10円とさせていただきます。

株主の皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

取扱商品

安定した生産と品質を支える電子機器をはじめとした各種生産設備から時代の最先端を行く光電子装置まで、当社は6つの製品セグメントを擁し、多様化と高度化が進むお客様の高度なニーズに応えています。

電子機器



NPM
高速モジュラーマウンタ
パナソニック コネクト株式会社
(日本)

世界でトップクラスの高性能電子部品実装機をはじめ、一貫した生産設備を取扱い、ベストソリューションを提案します。

売上高構成比
48.5
%

光電子装置



ファイバー
レーザーマーカ
サンインストルメント株式会社
(日本)

最先端のレーザー関連機器および光通信関連製品サプライヤーとして独自の地位を確立しています。

売上高構成比
9.1
%

工作機械



CNC工具研削盤
ロコマティック社 (スイス)

時代の最先端を行く高速・高精度な工作機械の提供で、お客様の安定した生産を高い品質で支えます。

売上高構成比
20.4
%

産業機械



装飾品汎用ラッピング・
ポリッシング装置
クルボアジェ社 (スイス)

最新鋭製品群と情報ネットワークとの相乗効果で常に最適なソリューションを実現します。

売上高構成比
0.0
%

測定機器



高速化・高精度化・省力化等のお客様の高度なニーズに世界で信頼される最新・最先端の測定機器の提供でお応えします。

売上高構成比
3.2
%

光学式非接触
3次元測定機
OGP / QVI社 (アメリカ)

その他

技術サービスおよび部品等の提供を行います。

売上高構成比
18.8
%

会社概要

2023.12.31現在

商号 YKT株式会社
 創業 1924年（大正13年3月）
 設立 1977年（昭和52年10月）
 資本金 13億8,983万6,820円
 従業員数 単体88名 連結133名
 事業内容 電子機器・工作機械・測定機器・産業機械等の
 輸出入販売
 取引銀行 みずほ銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行、
 商工中金、きらぼし銀行

役員 代表取締役社長 柳 崇博
 取締役 古閑 丸文明
 取締役 山本 庸一
 社外取締役 尾野 恭史
 常勤監査役 渡邊 勉
 社外監査役 鈴木 啓文
 社外監査役 田口 雄

株式の状況

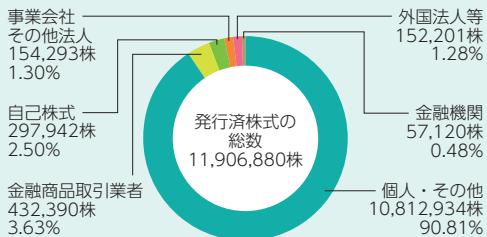
2023.12.31現在

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 11,906,880株
- 株主数 6,990名
- 大株主（敬称略） 所有株式数(千株) 持株比率(%)

山本 久子	2,423	20.88
山本 庸一	1,927	16.60
浅野 利広	124	1.07
井元 英裕	124	1.07
楽天証券株式会社	102	0.88
YKT社員持株会	101	0.87
品川 次郎	100	0.86
伊藤 緑朗	95	0.82
渡邊 紘子	85	0.74
株式会社SBI証券	72	0.63

(注) 1. 当社は、自己株式を297,942株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式（297,942株）を控除して計算しております。

所有者別分布状況



10 微科帝貿易股份有限公司



9 微科帝(上海)国際貿易有限公司



YKTネットワーク

当社グループは国内外12か所（国内8か所・海外4か所）に拠点を展開——。この広範なネットワークを活用して、生産設備・機器の輸出入はもちろん、最新の技術情報の収集とお客様への提供、製品納入後のアフターケアなど、包括的できめ細かなサービスを展開しています。

- 本社**
〒151-8567 東京都渋谷区代々木五丁目7番5号 YKTビル
TEL 03-3467-1251 FAX 03-3467-1138
- デモンストレーションセンター**
〒183-0004 東京都府中市紅葉丘一丁目24番1号
TEL 042-352-5121 FAX 042-352-5127
- 名古屋支店**
〒457-0038 愛知県名古屋南区桜本町104番地
TEL 052-822-3101 FAX 052-822-1138
- 大阪支店**
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目1番1号
TEL 06-6386-8731 FAX 06-6386-8741
- 仙台営業所**
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目10番12号
仙台マルセンビル5階
TEL 022-262-2081 FAX 022-262-2230
- 長野営業所**
〒393-0046 長野県諏訪郡下諏訪町東赤砂4699-14-106
TEL 0266-26-0801 FAX 0266-26-0803
- 福岡営業所**
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-7-16-205
TEL 092-415-1311 FAX 092-415-1314



4 大阪支店



3 名古屋支店



2 デモンストレーションセンター



1 本社

子会社

- YKT Europe GmbH**
Stuttgarter Str. 106, 70736 Fellbach, Germany
TEL 0711-4145-8500 FAX 0711-4143-0309
- 微科帝(上海)国際貿易有限公司**
上海市長寧区延安西路726号
華敏翰尊國際大廈7樓J座
TEL 021-6225-9911 FAX 021-5238-0087
- 微科帝貿易股份有限公司**
台北市松山区南京東路五段343号
南京世貿IC大樓 6樓-3
TEL 02-2745-5430 FAX 02-2745-5630
- YKT (Thailand) Co., Ltd.**
11th-fl., MD Tower 1, Soi Bangna-Trad25, Bangna-Trad Rd.,
Bangna-nua, Bangna, Bangkok, 10260, Thailand
TEL 02-173-5868 FAX 02-173-5887
- サンインストルメント株式会社**
〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目26番9号
五輪プラザビル4階
TEL 03-5436-9361 FAX 03-5436-9364

株式Q&A

Q ▶ 単元未満株式を処分したいのですが...

A ▶ 単元未満株式（100株未満）は、そのままでは議決権がない、市場で売買できないなどの制限がございます。そのようなご不便を解消するため、当社に市場価格で買い取るよう請求できる制度（買取請求制度）がございます。

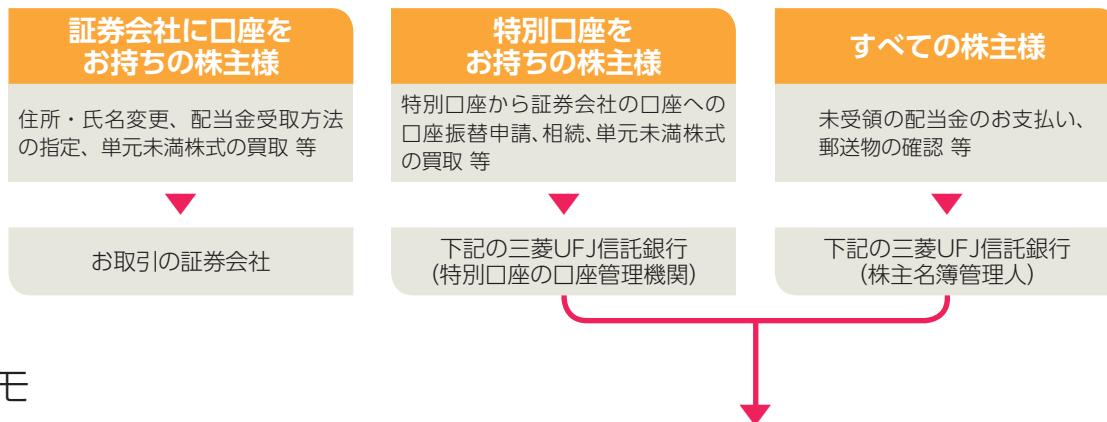
Q ▶ 特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが...

A ▶ あらかじめ、証券会社に口座開設をした後で、当社の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。単元未満株式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。

Q ▶ 配当金の受取りが銀行取扱期間を過ぎてしまいました...

A ▶ 当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にてお支払いいたします。配当金を確実に受取れる振込制度が便利です。是非ご利用ください。

■ 株式に関するお手続きについて（お問合せ窓口）



株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当金受領株主確定日 期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部